



その時の
等身大のそのまを
歌に込めて...



アコースティック弾き語り

竹田キミヒロ

夜の青葉公園で歌う竹田キミヒロ (写真・あまる)

しずおか
大道芸
新聞

第26号

金曜日の夜九時頃、静岡市街の真ん中に位置する青葉公園の一角で、ギター一本で弾き語りをしている男が一人：男の名は竹田キミヒロ。九年前からずっとその場に立ち歌い続けてきた。今回はそんな彼の心境に迫った。

♪ ♯ ♭ ♭ ♯ ♭ :

竹田は福島県福島市出身。物怖じしない性格で、子供の頃音楽の授業は大好きだったが、特に人前で歌いたいと思うようなことはなかった。

大学入学を機に静岡にやってきた竹田は、入学後知り合った友人のギターのうまさに感激し、一緒に遊んでいる中で自分もギターをやってみたいと思うようになっていった。それから同じ思いの仲間(後にコンビを組むことになる岡村氏)と共に、三人でギターをいじる日々が続いた。

大学に入りたての頃は特に忙しいということもなく、練習に集中することに何の障害もなかったため、その年の夏頃には歌いながら演奏できるまで上達していた。ギターの技術を会得し出すと作詞作曲をするようになり、最初は仲間うちで発表会などを開いていたものの、練習を重ねていくうちに、もっと多くの発表の場が欲しいと思うようになった。そこで初めて音楽系のサークルに入ってみようかと

いう話になり、三人組として学内の生音楽同好会に入会、大学祭や春フェスのステージに参加するようになった。

そのまま大学四年間活動を続けた三人だったが、大学卒業と同時にギターがうまかった仲間が一人静岡を離れてしまった。残された二人はすっかり歌の魅力にはまり込んでいて、活動はなんとか続けたかった。いい場所がないかと考えたとき、やれる場所というのはストリートかなと考えた。

その頃はちょうどストリートミュージシャンのブームのような時期で、二人のほかにも当時は歌い手がかなり出てきていた。自分たちにも名前が必要だと感じ、その頃活躍していたヒステリックブルー、フェイバリットブルーとかそんな名前のアーティストたちを思い浮かべつつ、自分たちも適当にアミューズメントプールとかでいいんじゃないのと思つたものの、それはギリギリのところだと思つた。自分たちならではの名前は何かないか考えた結果、竹田の「タ」、岡村の「オ」で「Tao」、これを取り入れて「Amusement Tao」(アミューズメントタオ)ときまった。中国の言葉でタオは「道」と表されることがある。もともと本来のタオとは根本的に意味が違ふものの自分たちが歌おうとしている場所もストリート(道)。これでいいと思つた。



Amusement Taoは結成後はほぼ毎週末、金曜夜にパフォーマンスを行った。最初地下道で歌っている頃は、狭い通路ということもあって取り締まりにあり「そろそろいい大人なんだから…」などとなだめられると不甲斐なさを感じたりもした。それでも、場所を青葉公園に移してからはストリートならではの出会いを楽しむことができるようになり、コミュニケーションを楽しむ自分たちの演奏スタイルを確立していった。出会いがまた新しい出会いを生んで、思いがけない形で人と人がつながっていく。そういう場として、ストリートでのパフォーマンスは大きな魅力があった。もちろん出会いにはストリートに限ったことではないが、ストリートの場合ほとんどそれが突拍子もなくつながっていくことがある。

Amusement Taoはそのまま約六年間

に渡って青葉公園で歌い続けるという、ストリートミュージシャンとしては偉業といってもいいであろう継続的な活動を行ってきた。そんな中相手である岡村氏が家庭の事情で定期的な活動が難しくなり、「Taoは活動休止状態に。」それでも、竹田は一人になっても歌い続けてきた。何が彼をそこまで駆り立てるのか。

「ずっと続けていると、坦々としてくるんですよ」と彼は言う。続けることは辛くないのか。
「私の知り合いには、二十五年間毎朝走っているおじさんとかいますよ」。ストリートでの弾き語りには、彼の中ですっかり生活リズムの一つとなつていく。むしろ歌い続けたいと不安にすらなるといふ。ライブで最高のパフォーマンスがいつでもできるよう、ストリートはむしろかっこうのトレーニングの場となる。

♫ ♯ ♭ ♫ ♯ ♭ :

プロを目指すミュージシャンが道半ばで諦めてそのまま辞めていく、そうではなくて、プロじゃないけど歌も演奏もうまい人たち、プロとアマの間みたいな人たちがもつと世の中に出てきたらおもしろい。竹田は、最近では静岡街中での認知度も徐々に高まってきた毎年十一月半ばに青葉公園で行われるストリートフェスティバルの、初期の立ち上げメンバーである。
静岡の街を音楽でもっと明るくしたい、アーティストたちが自信をもって

新代表 ももっち 奮闘記

第1回
ご挨拶です!

演奏していける環境を整えたい、そういう思いは静岡のミュージシャンの中にあつて人一倍強いと感じる。

♫ ♯ ♭ ♫ ♯ ♭ :

彼にとつて歌の魅力とは、まず大声を出すという原始的な喜びと、詩が誰か他の人に届いたときの伝える喜び。作品を作って発表する喜び。それらができたとき、自分はここにいるという実感がもてる。メッセージを伝えるために必要なことは、例えばそれが演劇だったとしてもやりたいと思う。

伝えたいメッセージは生きていく中で変わっていく。普通に働いて、日々の生活の中で湧き上がってくるその時の時の思いを音楽にしていこう。

竹田キミヒコの弾き語りには、これからも形を変えながら夜の静岡を彩り続ける。
(文・あまる)

※竹田キミヒコのライブ情報は本紙四面いんふおコーナーをご覧ください。



皆さんこんにちは!

2008年度より「しまる会(しずおか大道芸のまちをつくる会の略称です)」。新代表を務めさせていただきます。だく大道芸人ももっちと申します。
今後静岡大道芸の発展と普及の為に粉骨碎身の思いで頑張りますので、ご教授、ご鞭撻のほどを宜しくお願い致します……

さてさて、堅苦しい挨拶はこの辺にして(口)

(いいのか?)

今号より新コーナー『新代表ももっち奮闘記』スタート!

大道芸新聞の編集スタッフより、

「自由に書いていいよw」

ん!?!?!本当に?!

「じゃ、じゃあやります!」と安請け

合いをして既に後悔の真っ最中です

o(T_T)o

第1回になる今回は就任挨拶も兼ねるので、すでに内容薄めですが……(代表の仕事に触れてないし、文字数足りないし)

今後の奮闘ぶりにご期待を!

2008年5月10日

(文・ももっち イラスト・優香)

いそいそ！ 静岡一揆一揆

企画運営者からのレター

☆「静岡一揆！」とは…

静岡のパフォーマー達がノンジャンル性で一挙集結、バラエティに富んだ演目で彩り豊かに表現の花咲かせる、寄せ鍋のイベントです。「一揆」とは「心を合わせる」という意味。(決して、謀反を企んで反乱をおこす…といった意味合いではありません！笑)。

二〇〇七年六月に静岡駅南にあるセントラルスクエア静岡にて、記念すべきその第一回目が行われ、総勢十組のパフォーマーが顔ぶれ豊かに集い、文字通り「一揆」しました。それから、およそ一年間エネルギーを蓄え、先日そのパワーを一気に放出！今年の四月十三日(日)に、シリーズ第二回を静岡街中【サーカスタウン】というライブバーで(総勢八組出演)、そして、その二週間後の四月二十七日(日)にはシリーズ第三回を(約一年ぶり！セントラルスクエア静岡にて)行い、躍動や衝動を集め、放ちました。アコースティックやバンドなど音楽・大道芸だけにどまらず、一人芝居や、音楽に合わせてテーマに沿った絵を描き表していくライブペインティングなど、各パフォーマーは、それぞれ自分のフィールドを、同じ場所に持ち込み、思いの丈をそれぞれのやり方で表しまし

た。パフォーマーマンズの形態や魅せ方は違っても、願いは一つ。「楽しんでほしい」。演目内では、イベントを一つのパッケージとして楽しんでいただけよう、随所に、音楽と絵と曲芸のコラボレーションなど、普段、決して交わり合うことのないジャンルのパフォーマー同士がセッションして一つのアートを描き出す…という【チーム静岡一揆！】のコーナーを設けています。いつでも準備段階では、お客さんの度肝を抜きたいという企みや目論見に溢れています。せつかく、一挙集うのだから、何かしら「やらかしたい！」「一揆」して「やらかしたい！」。

☆そんな私も歌い手の一人！

僕自身の話になりますが：僕が静岡の街で歌い始めたのは、およそ十五年前。静岡市の青葉通りには週末、今よりも飲み歩く若者が多かった印象が残っています。当時はまだ、街中でギターケースを広げ歌うという、いわゆる「ストリートミュージシャン」とカテゴライズされるようなパフォーマーは皆無に等しく、そういった点では、一時期の「路上ライブ」ブームというムーブメントも手伝って、街角でギターを爪弾き歌う、といったパフォーマーが、全国的に定着し、無論この街にも広まったことは非常に喜ばしいことだと思っています。一時は、パフォーマー同士が、音の届くほどの距離で自慢の喉を競い合うような頃もありましたが、聴く側のお客さんには、もっと落ち着いて、居心地よい環境でショー

を楽しんでほしい。静岡には、僕の知る限りでも、随所で色んな方が企画する音楽フェスのイベントが増えてきました。一つ一つは、非常に素晴らしいもので、出演者たちも、観覧者たちの表情も、それぞれ輝きを放っていて、それはそれでとても素敵なことだな☆って思ったりするので、それらが、もつと解りやすく繋がって、静岡のパフォーマーマンズシーン全体が、一つの輪になっていったなら、それはもつとずつと温かいご機嫌な温度を紡ぎだすのではないか…！



筆者が真ん中 第三回静岡一揆ダンパー (写真提供 セントラルスクエア静岡)

静岡には、まだまだ潜在するパワーが順番を待ちわびて、痺れを切らして。各自活動するパフォーマー達の活動の幅が広がればいい。お客さんは、せつかく足を運ぶのだから、一つの場所、一度に色んな味わいや色合いを楽しめたらいい。点と点を結び繋がる

線のように、「魅せる側」も「見る側」も、向き合う角度で、バリアフリーに、少しずつその輪を広げたい。雑多な思いが風船のように膨らんで、気がつけば、(静岡一揆！発足に向けて)周りのみんなに声をかけています。

☆今後の展望！

現段階でシリーズは通算三回。まだまだ若いイベントではありませんが、毎回の総括や、それに伴う反省を活かしながら、徐々にステップを踏んで、成長を続けています。大道芸ワールドカップが全国的にも名高く定着したこの街で、これからもいろんな世代の方々が、毎回笑顔を手土産にお持ち帰りいただける、スマイルの種発信ステーション的、ほっこりした場所と時間でありたいな♪

【第四回静岡一揆！開催予定】

六月八日(日)午後一時～エスパルスドリームプラザ海側デッキにて シーサイドライブ (詳細企画画・入場無料)

今後出演してみたいパフォーマー及び運営有志スタッフ、ノンジャンルで大募集中♪お問い合わせは leader2929831@vc.tnc.ne.jp (鈴木) までお気軽に！ (文・ゼリー、鈴木秀典)

http://degozaimasu.cocolog-nifty.com/blog/

大道芸 & 音楽いんぷお

竹田キミヒコ

<http://taoweb.org/>

青葉公園 ストリートライブ
毎週金曜 21:00~

5/31(土)
◎竹田キミヒコCD発売記念ライブ
「生放送(仮題)」

会場 スノードールカフェ
住所 清水区上原1-7-3 2F
<http://www.snowdoll.net/sndc/>
start 19:00頃 1500円くらい(ドリンク代込)
出演 Amusement Tao × 竹田キミヒコ

MSDK

<http://www.msdkweb.com/>

“おとみちキャラバン”に参加
<http://kumadayo.blog.ocn.ne.jp/>
5/24(土) ザザシティ浜松
5/25(日) サントムーン柿田川
6/1(日) 静岡市けやき通り

Gnome

<http://gnome.ws/>

(いんぷお担当・チャリ) 5/25(日)
◎piece of Bands
会場 サーカスタウン
住所 葵区常磐町2丁目2-1 2F
<http://circustown.aikotoba.jp/>
open 14:30 start 15:00
学生200円 一般1000円
※飲物別 300円
アルコール500円



6/15(日)
◎静岡音楽天国vol.4
会場 サナッシュ
住所 駿河区稲川1-1-32
<http://sunash.info/>
open 17:30 start 18:00
前売り1500円 当日1000円
高校生以下500円 飲物代別

にゃんこ

<http://www.balloon-nyanko.com/>

6/7(土) 藤枝歯科医師会
藤枝市保険センター
パルーンサービス 12:00~

かずや

<http://www.h4.dion.ne.jp/~nonthe/kazuya.htm>

6/7(土) 歯ッピーフェスタ 岡部町保健センター
パルーンサービス 12:30~16:00

Mr.ぶるーす

<http://www.geocities.jp/mrbruce>

7/27(日) 由比町屋原夏祭り
13:00~21:00
他出演
かずや、あまる、にゃんこ、MSDK、
 juggler Hayato、ジャグラー天地賢龍

あまる

<http://www.amarulabo.com/>



8/14(土)
◎「あませみ」舞台公演
キワモノ芸人四組によるライブ
出演 あまる、舞丸、制球難轟姫、加藤みきお
会場 アイセル21ホール
住所 葵区東草深町3-18
18:30開場 19:00開演
予約 amaru@amarulabo.com
入場無料(投げ銭方式)

静岡市街の大道芸

当会では以下の場所について大道芸のための場所確保を
仲介しています。大道芸としてパフォーマンスを行いた
い方は本頁最下部の連絡先までお気軽にご相談下さい。

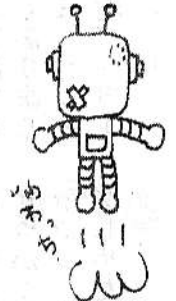
- ・札の辻(静岡伊勢丹前交差点・道路)
- ・けやき通り(丸井静岡店、静岡109間交差点・道路)
- ・青葉パフォーダンス通り
- ・エスパルスドリームプラザ 海側デッキ
- ・ペガサート B1F館内又は呉服町側地下道入口スペース
- ・セントラルスクエア静岡 グルメ館他
- ・紺屋町(静岡パルコ前・道路)

くらうんのわッ

http://park.geocities.jp/clown_no_wa/

5/25(日)
◎びっくり!クラウンストリート
静岡の街中にクラウンたちが遊びに来るよ
13:00~16:00
けやき通り、ペガサート地下、呉服町通り

8/31(日)
◎くらうんのわッ発表会 詳細は以下!



◎ 優香

くらうんのわッ はっぴょうかい

8月31日(日) 開演 13:30 30分前開場 入場無料

馬場製菓(ばばせいか)
〇五四―二五二―一五五二

**N-アセチル
グルコサミン
カテキン錠**

緑茶カテキンと、ヒアルロン酸のもと
NAG(N-アセチルグルコサミン)入りの
カテキン錠です。

4粒で500mgのNAGが
摂取できます。

1日4粒

※補綴品
N-アセチルグルコサミン
カテキンもごじやいます。

静岡の **キャット&ポア**

〒420-0857 静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート地下1階
TEL 054-255-9080 営業時間 10:30~22:00
ホームページ <http://www.catbois.com/>

しずおか大道芸新聞第二十六号
二〇〇八年五月二十日発行
発行部数三〇〇〇部

編集・発行
しずおか大道芸のまちをつくる会
しずおか大道芸のまちをつくる会
(代表) 百瀬 忠司
090-1867-4040
shimaruakai@mail.goo.ne.jp
編集長 あまる
http://www.geocities.jp/shizuoka_simaruakai/

◎ 編集後記

今年度最初の新聞です。今号はストリートミュージシャンが中心となりました。これを機会にこれまで興味のなかつた方も、ぜひ音楽の大道芸にも今後注目です!(あまる) 編集作業はメールで行っています。次はあなたも参加してみませんか?(まみい) ホッと一息。(チャリ) 「日々は修行中」(ミーコ)

ご意見・ご感想、お待ちしております。

会員になりませんか?

NPO「しずおか大道芸のまちをつくる会」は、静岡の街中で日常的に大道芸を楽しめるまちづくりを目指しています。会の活動を応援してくれる会員を募集しています。会員の方には「しずおか大道芸新聞」をお届けします。年会費は一口一〇〇〇円(年会費)で、お一人様何口でも。お申し込み・お問い合わせは当会のHPまで。(この段最左記参照)

その他 静岡パフォーダンスのホームページ紹介
<http://www.geocities.jp/juggling1117/>
ももっち http://www.geocities.jp/molly_daidoge/
もーりー http://blog.livedoor.jp/yo_yoperformer/
TAKE-Iguchi <http://www.geocities.jp/ballettermin/>
ジャグラー トラル